



釧路東高校 C・S 通信

令和7年2月27日発行 第6号

第3回学校運営協議会報告

令和6年度第3回学校運営協議会を2月25日（火）、本校会議室にて実施されました。

蝦名弘幸会長、汐川裕彦校長の挨拶の後、事務局から令和6年度の釧路東高校の教育活動について各分掌部長から報告されました。

総務部からはPTA関係や学校運営協議会の1年間の報告、教務部からは生徒の学習活動についての報告、生徒指導部からは生徒の生活指導についての報告、進路指導部からは、3年生の進路状況について、生徒会からは、部局の活動結果について報告が



汐川校長挨拶

ありました。主な内容として今年度は、新たに10月、12月の2回に渡って成績不振者全体説明会を実施し、生徒の学習成績や学習習慣の改善に向けて粘り強く指導したこと。5月の事例研究、11月に蝦名会長を講師とした研修会を実施し、職員全体でいじめ防止に取り組んだ結果、生徒間トラブルの早期発見につながり、いじめの認知件数が昨年度から半減したこと。吹奏楽部で全国大会に出場した生徒がおり、後援会の支援で横断幕を校門に掲げることができたことなどがありました。

続いて本校教職員の自己評価をもとにした学校評価について教頭から説明があり、主な内容としては、課題を抱えている生徒達が、授業や探究活動やボランティア活動を通し、次第に成長していること。またICT機器を使用した授業に向けてお互いに紹介し合う研修や校外研修を通して教員の資質能力向上に努めたほか、校務DXを通して働き方改革を進めたこと。次年度にむけて生徒会がインスタグラムやnoteを用いたSNSでの発信をする計画をすすめていること。2間口の完成に向けて生徒や教員数の減少にともなう取組。生徒の下校時間設定などについての報告がありました。

その後、各委員からさまざまな質問や意見があり討議を進めました。就職活動で現在でも内定がもらえていない生徒についての質問があり、事務局からは今年度は欠席日数が多い生徒や就職活動を始めるのが遅かった生徒がいたためであるとの回答をしています。生徒によっては、自分の特性を掴めずに就職活動に前向きに取り組めていない者もあり、就職試験が解禁される時点で十分な準備や心構えができていないことが課題であるため、委員からも協力の申し出をいただきました。また2間口になることによって教員数が減少することから外部人材の協力をどのように得られるかという質問には、釧路にある大学と連携し学生の協力を得られるよう模索するという回答をしております。この他、本校生徒のスマートフォンの使い方や地域住民参加型の1日防災学校の改善など多岐にわたって学校運営の改善につながるご意見をいただきました。

御多用のなか、委員の皆様には御参加いただき、誠にありがとうございました。今回の御意見をもとに令和7年度の学校運営の改善に努めて参ります。



蝦名会長挨拶



事務局からの説明